

細川地域活性化

細川住民の声

- ・小中学校までしか近隣に近く生徒数も少ない
- ・高校生は他の地域に流出し戻ってこない
- ・近くにコンビニやスーパーがなく買い出しには時間と労力が必要になる

地域の高齢化・活気の低下

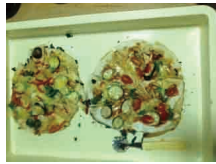
方針

● 住民が他の地域の人と触れ合える機会を増やす

- ・古民家 zutto との結びつきの向上
- ・住民同士の自発的な交流を促す

古民家 Zutto の手作り市の活発化

- ・現在は開催数が年に3回ほどなので住民に客として参加してもらい月1回を目標に開催頻度を高める



手作りカレーやピザを住民に振る舞う

きれいでおいしい湧水をアピール

- ・住民公認のポリタンクを制作し、そのみで湧水をとることを認可する。
- ・ポリタンクは古民家 Zutto のホームページなどを利用して宣伝する

住民同士による交換日記

- ・その日の出来事を日記にし、次の人に渡す
- ・受け取った人は前の人にコメントを簡単に書き次の人に回す
- ・日記だけではなく連絡事項の媒体としても使用可能

ネットを使わないコミュニケーションツールの確立

効果

- ・手間をかけずにほしいものが自宅に届き、不自由なく生活が送れる
- ・他地域の人々と触れ合うことで住民に活気が出る
- ・住民同士のつながりが強固になることで自発的な集会やお祭りの開催が期待できる

買い物難民の増加

＜細川の買い物難民の特色＞

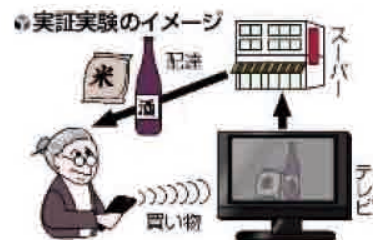
- ・ほとんどが高齢者
- ・移動する交通機関が充実していない

方針

● 通信販売の導入が効果的ではないか

ケーブルテレビを利用した通信販売の提案

販売システムのイメージ



- ・住民はテレビのリモコンを用いて画面で注文する
- ・注文内容を企業もしくはNPOに仲介してもらい堅田や朽木市内のスーパーにデータを送信する。
- ・注文した商品は運送業者により一つ一つの家庭に届けられる。

● 利点

- ・面倒な移動がなくなり手軽にほしいものが手に入る
- ・ケータイやパソコンではなく使い慣れたテレビのリモコンで注文ができる

● 課題

- ・データを仲介する企業の確立
- ・スーパーの負担増加